



マメルリハインコの食事

Parrotlet Diet [2013年2月23日]

注意：野生下での食事が飼養下の鳥たちにとっていいものとは限らないということを念頭においてください。

キガシラルリハインコ (Yellow faced Parrotlet)

<http://www.zoocriaderolaesmeralda.org/xtras/Pachaloro.htm>

食 事

キガシラルリハインコの食事に関するレポートによるとサボテンを常食としているとある。これは、胃を仕掛ける者全ても確認をしている。野外観察および胃内容物の分析によると、キガシラルリハインコはサトウキビの果肉やサボテンの実の種子だけを一時的に食べていることを示唆している。調査期間中、3つの異なる種のサボテンにおいて、82%の鳥(9羽)がフォーシング(採食行動)をしているのが観察された。残り18%はその土地で知られているマメ科植物の実、Canaquil (*Cercidium praecox*) をフォーシングしている様子が観察された。この地域で暮らす3羽の胃の内容物を確認したところ、内容物の80%が果実とサボテンの果肉の地中にある種子であり、残り20%は熟していない

Canaquil の実だった。キガシラルリハインコの食事は、野外観察により雨季の前後では大幅に変わることが分かった。例えば、Riveros氏とそのグループによると、キガシラルリハインコはPate flower (*Bombax discolor*) を食べるが、野外観察の期間中、この樹木は花も葉もない丸裸の状態だったので、乾季以外には食事を切り替えていると言える。

マメルリハインコ (*Pacific Parrotlet/Forpus coelestis*) (ほとんどの地域では害鳥と考えられている) とは対照的に、キガシラルリハインコは生息範囲全体でわずか2つの地域で作物を食べると報告された。キガシラルリハインコの100羽くらいの群れが記録されているHuamachucoとHuasminの地方で、その範囲の中央部と北部の小麦畑に姿を現して食べたという報告がある。小麦畑は高さ2100mの位置に広がっている。この行動は、6月と7月の種子類が得られる割合が減少する時期と乾季の開始時期と一致する。

Red-fronted Parrotlet

<http://datazone.birdlife.org/species/factsheet/red-fronted-parrotlet-touit-costaricensis>

木や着生植物の果実を常食とする。ノボタン (*melastome*) やカベンディシア

(*Cavendishia*) やクルシア (*Clusia*) のようなエリカ属を含む。

Spot winged Parrotlet

<http://datazone.birdlife.org/species/factsheet/spot-winged-parrotlet-touit-stictopterus>

イチジクを含む果実を常食としている。トウモロコシ畑に現れると報告されている。

Brown backed Parrotlet

<http://datazone.birdlife.org/species/factsheet/brown-backed-parrotlet-touit-melanonotus>

唯一知られている食事は森林のマメ科の種子や *Rapanea acuminata* やクルシア (*Clusia*)、ヤドリギ (mistletoes) の果実 (果肉) である。

Golden tailed Parrotlet

<http://datazone.birdlife.org/species/factsheet/golden-tailed-parrotlet-touit-surdus>

黄色いモンビン (*Spondias lutea*) や *Rapanea schwackeana* の果実を常食していると報告されている。

*本文中、日本語名が不明なものは英語表記のまま記載しております。ご了承くださいませようお願いいたします。

著者—不明—ウェブページにて確認してください。

この記事の内容のコピーライトはウェブページの管理者に属します©2012 All rights reserved.